

土佐清水市第3期地域福祉計画

みんな家族
地域の絆で"支えあう"
とさしみず

地域福祉とは、それぞれの地域において誰もが安心して、しあわせを感じて暮らせるよう、地域住民や行政・関係機関がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方です。

土佐清水市健康推進課
〒787-0392
土佐清水市天神町11番2号
TEL: 0880-82-1120
FAX: 0880-82-5599

土佐清水市社会福祉協議会
〒787-0323
土佐清水市寿町11番9号
TEL: 0880-82-3500
FAX: 0880-82-4047



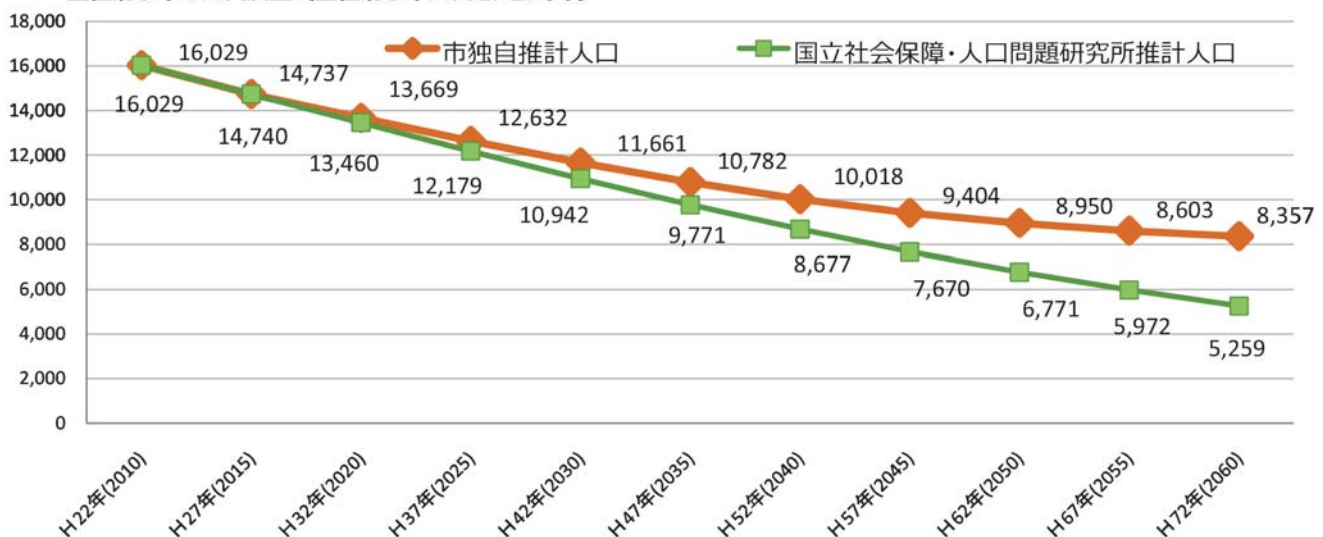
地域福祉を推進するための 地域と行政・関係機関 みんなの計画です

土佐清水市の現状と課題

本市では、人口減少・少子高齢化が近年加速度的に進んでおり、地域の活力が衰退することで、住民生活への負担や不便が増し、認知症など高齢化がもたらす問題も顕著になっています。また、基幹産業の厳しい状況が就労機会の減少につながり、人口減少に拍車をかけています。

しかし、地域ではふれあいの場づくりや伝統行事の復活など住民が主体となった新しい取り組みも行われ、地域の絆を活かした支え合いが広まってきています。

土佐清水市の人口展望（土佐清水市人口ビジョンより）



計画の目的

計画の背景と目的

少子高齢化や家族形態の変化にともない、一人ひとりが抱える生活課題は多様化し、少しの手助けが必要な場合や身近な人でないと気付かないような問題があります。

本計画は支援を必要とする方を地域全体で支え、誰もがしあわせを感じて暮らせるよう地域住民、社会福祉関係機関、行政などが協力して課題解決に取り組む道しるべとなるものです。

計画の期間と位置付け

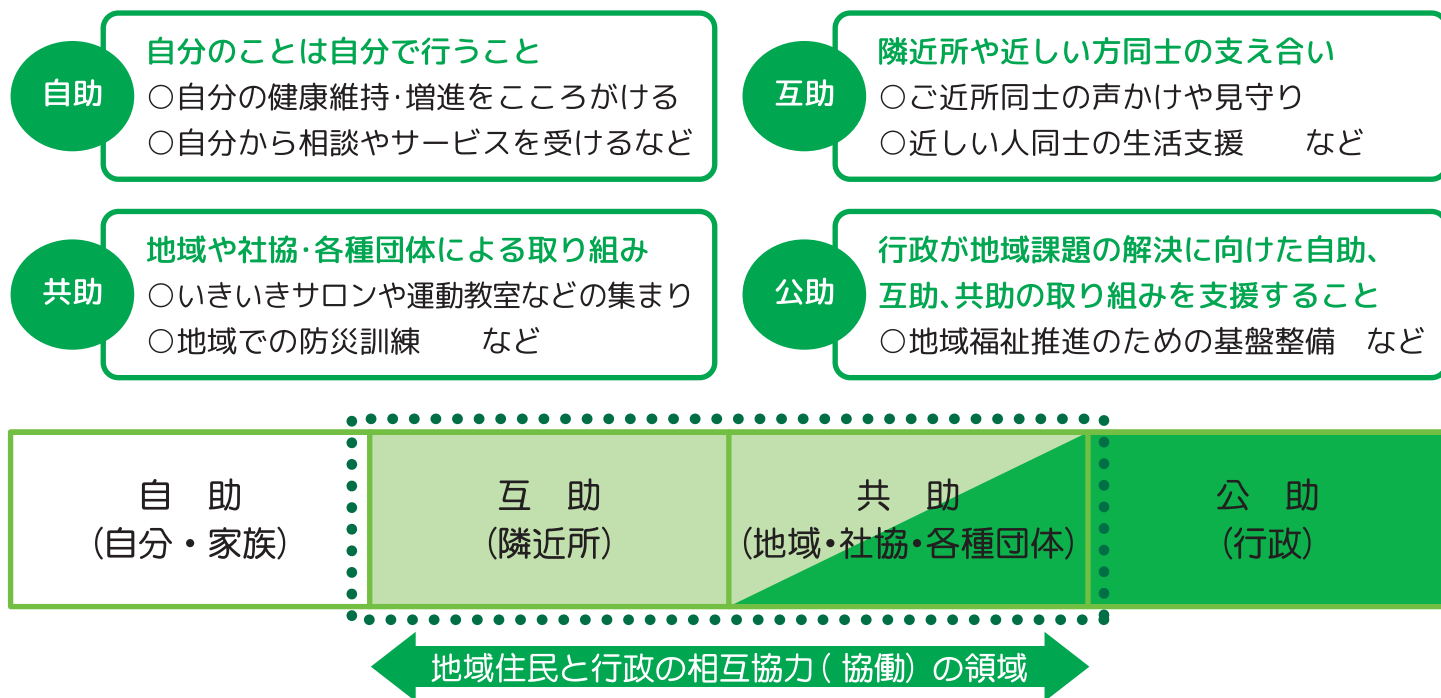
計画期間は平成29年度から平成33年度の5年間です。「土佐清水市総合振興計画」を基本として、策定しており、本計画における住民主体の活動方針を定めたものが、「土佐清水市地域福祉活動計画」（社会福祉協議会による策定）です。市と社会福祉協議会が協働で一体的に策定をしました。



地域福祉推進のための「自助・互助・共助・公助」の考え方

「地域福祉」を進めるためには、地域にかかわる人たちが地域福祉計画の推進という共通目的をもち、行政や関係機関・団体と住民が、それぞれの特性を活かし生活課題の解決に向けて行動をしていかなければなりません。そこで重要になるのが「自助・互助・共助・公助」の考え方です。

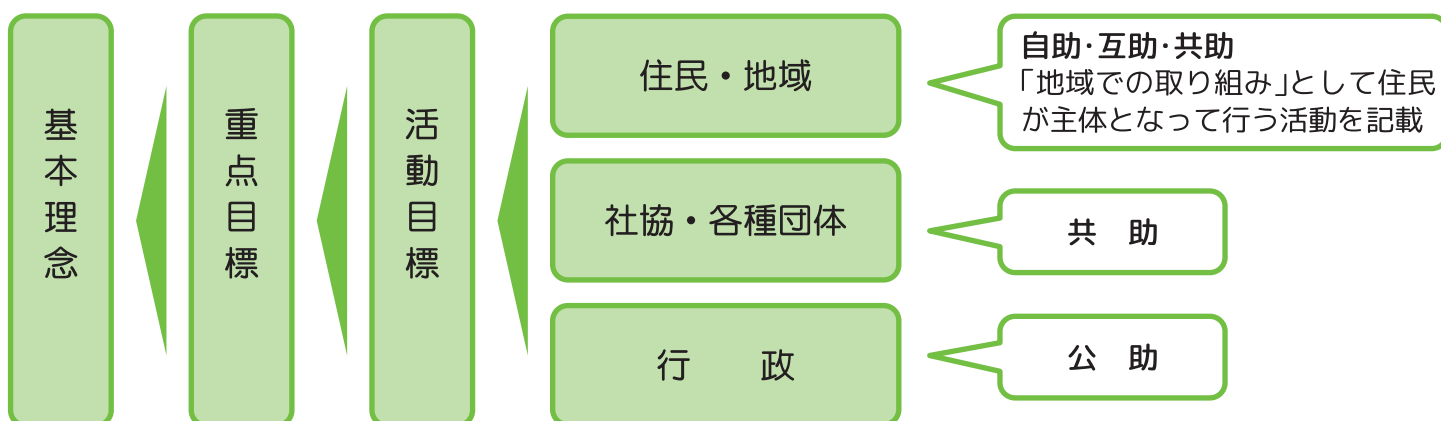
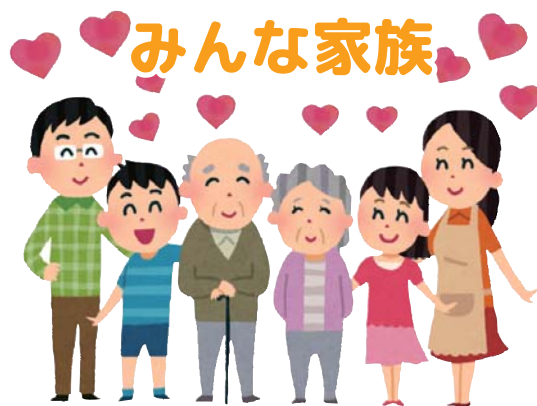
「自助・互助・共助・公助」が連携し、地域全体で支え合い、助け合う地域づくりを進める必要があります。



計画の考え方

地域福祉の主役は住民です。地域を「家族」ととらえることで住民同士のつながりを強くしていくことや、一人ひとりが地域に愛着を持ち、地域住民として行動をしていくという意味を込め、「みんな家族 地域の絆で支えあう とさしみず」を基本理念としました。

住民一人ひとりの取り組みや地域、各種団体、行政が連携することが地域福祉の充実や地域の未来をつくることにつながります。



基 本 理 念

みんな家族 地域の絆で支えあう とさしみず

重点目標

活動目標

地域での取り組み

地域でつながる
まちづくり

100歳めざそう
健康づくり

未来につなごう
伝統行事

見つけて使おう
地域資源

深めよう世代間交流

介護予防、認知症予防の取り組みをしよう
みんなで歩こう 一日5,000歩
楽しく食べよう三度の食事

地域の歴史や伝統を伝え発信しよう(祭りや伝統行事)
地域の行事に参加しよう

空き家や休耕地を活用しよう
海・山等の産物を活かそう

子どもや若者が高齢者と集える機会をつくろう
集いの場をつくり継続させよう
男性が集う場所をつくろう

安心して暮らせる
まちづくり

すすめよう生活
(買い物・移動)の協力

すすめよう体の元気と心の元気

すすめよう災害への備え

お店や通販で一緒に買い物をしよう
移動手段の活用方法をみんなで工夫しよう
通学・通園バスの乗降りを手伝おう

診察の立ち会いや受診の協力をしよう
普段から何でも相談できる場をつくろう

災害時要配慮者を支援するネットワークをつくろう
防災意識を高めよう
みんなが避難訓練に参加しよう
防災マップをつくり地域で情報を共有しよう

暮らしを支える
まちづくり

見守り・声かけ
支え合うまちづくり

広げよう
ボランティア活動

高齢者への見守り・声かけをしよう
登下校時の子どもの見守り・声かけをしよう
隣近所への声かけから始めよう
生活上気になる人を見つけたら専門機関へつなごう
子育て世帯への見守りをしよう

ゴミ出し困難者への協力をしよう
福祉協力員等を増やそう
地域でボランティアグループをつくろう
ボランティアの周知をしよう

福祉の心を
まちづくり

育てよう
福祉を支える人材

充実させよう
福祉教育

地域でリーダーの育成をしよう
認知症への理解を深めよう

子どもが地域で学べる機会を増やそう
子ども民生委員の活動を広めよう
体験学習を通して様々な人への理解を深めよう

若い人が
住みたくなる
まちづくり

活かそう
地域の魅力

みんなでつくろう
地域の未来

地域の資源を活かした職業体験をしよう
インターネットなどで地域の情報を発信しよう
地域のつながりを活かしたU・I・ターンを受け入れ体制
をつくろう

地域の中で集まり、話し合いができる場をつくろう
若い人たちも相談しやすい地域の場をつくろう
地域の後継者を育てよう